

奈良県汚水処理構想

平成28年6月

奈 良 県

目次

1 汚水処理構想策定の趣旨	1
1.1 奈良県汚水処理構想とは	1
1.2 汚水処理構想見直しの背景	1
1.3 汚水処理構想の見直し	2
2 奈良県の汚水処理の現状と課題	3
2.1 汚水処理施設の整備の現状と課題	3
2.1.1 汚水処理普及状況の現状と課題	3
2.1.2 公共用水域の水質の現状と課題	4
2.1.3 汚水処理施設の整備主体の現状と課題	7
2.2 汚水処理施設の老朽化の現状と課題	8
2.3 汚水処理施設の運営の現状と課題	10
2.3.1 人口の減少	10
2.3.2 一人当たりの使用水量の減少	10
2.4 汚泥処理の現状と課題	11
3 汚水処理構想の策定	13
3.1 汚水処理構想の基本条件	13
3.1.1 目標期間	13
3.1.2 将来行政人口	13
3.2 汚水処理施設の早期整備	15
3.2.1 早期整備のための方策	15
3.2.2 早期整備(平成37年度)の目標	18
3.3 持続的な汚水処理システムの構築	19
3.3.1 汚水処理施設の長寿命化対策	19
3.3.2 汚水処理資産の有効活用 ～奈良モデルの導入～	20
3.3.3 下水道接続の促進	25
3.3.4 公正な下水道料金の徴収	26
3.3.5 地方公営企業法適用に向けた取組み	26
3.3.6 民間活力等の活用	28
3.3.7 汚泥等の有効活用	29
4 目標達成に向けた今後の取組方針	33